

中ノ森八幡神社

社の起源には弘治元年(1555年)に三宅飛驒守が創設したというものと、平治元年(1159年)に大中權助が甲斐の国より歓請したという2つの説が記録に残っています。



アラカシ

中ノ森八幡神社の境内には広島市の天然記念物に指定されている「アラカシ」の巨木があります。根の周り約5.2mに及ぶ大木で、昔から聖明神として神聖視されてきました。



戸山へ移住を希望される方へ

定住促進部会では、主に子連れの家族・若い夫婦を増やし、学校を維持していくことで戸山をいつまでも元気に残すことを目的として、空き家等の情報収集を行い、移住希望者と希望する物件とのマッチングのサポートを行っています。

戸山への移住に興味のある方は下記までご連絡ください。

お問合せ まちづくり戸山 まちづくり定住促進部会
nishimura.company.toyama@gmail.com

アクセス



※このマップは、戸山地区の活性化を目的に作成しています。マップの情報は、令和7年3月時点のものです。地区内の全ての店舗、企業を掲載していないことをご了承ください。
発行：広島市安佐南区役所市民部地域起こし推進課 TEL 082-831-4926
〒731-0193 広島市安佐南区古市一丁目33番14号
印刷：株式会社沼田総合印刷



戸山の紹介

緑豊かで里山の原風景が色濃く残る戸山地区。区の西部に位置し、高速4号線を利用すれば市内中心部から車で約30分で訪ることができます。区の面積の約4分の1を占め、人口はおよそ1,700人。区内唯一の中山間地域です。近年、戸山ではその魅力に惹かれ、おしゃれで個性的なお店の出店や若い世代の移住が増えてきています。



阿刀神楽

文化元年(1804年)、宇高宗助という武芸の達人に よって柔術の型を取り入れたとされています。12の演目によって構成される「十二神祇系」の神楽であり、広島県無形民俗文化財に指定されています。毎年10月に、阿刀明神社と中ノ森八幡神社で、交互に神楽が行われます。

阿刀明神社

1300年頃の樂音寺神名帳の佐東郡四位十一前の中に阿刀明神の名があり、「芸藩通志」には、八幡宮と弁財天の二社として記されています。天保8年(1837年)に、この両社を合併し八幡宮と称し、明治4年(1871年)には、旧称である阿刀明神社に復したといわれています。

